

新たな再編案について

1 基本的な考え方

- ・ 住民投票では、「令和3年1月1日までに3区案で再編を行うことについては、反対が多数」、「令和3年1月1日までに再編を行うことへの賛否は拮抗」との結果となり、行政区再編の議論を前に進めるためには、住民投票で提案した3区案に代わる案が必要。
- ・ 区割りを検討する際には、現在の区の合区にこだわらず、区域の見直しも含めて柔軟に対応。
- ・ ひとつの基礎自治体として行政サービスを提供することに立ち返り検討。
- ・ 本市の規模であれば、市役所と出先機関により行政サービスの提供が可能。しかし、指定都市であるため複数区の設置が法定されていることから、法令上の最少数である2つに区分し、区・区役所の設置が必要。
- ・ ひとつの基礎自治体としての一体感を大事にしつつ、市町村合併、指定都市への移行、行政区を単位とした区政運営等を踏まえ検討。

2 再編案

◆北遠と西遠の2区案（別紙）

- ・ 合併前の北遠地域（1市3町1村。現在の天竜区）は歴史的、地理的なつながりとともに、地方公共団体の区域を越えて広域市町村圏を形成。
- ・ 北遠地域を除いた西遠地域（2市5町）も、合併前は当時の湖西市及び新居町と広域市町村圏を形成。
- ・ 再編とあわせて急激な人口減少、林業の成長産業化等、北遠地域の特性に応じた地域政策推進体制を強化。

◆北遠と西遠の2区案

構成	人口(割合)	面積(割合)
北遠 (天竜区)	29,503 人 (3.7%)	944.00 km ² (60.6%)
西遠 (中・東・西・南・北・浜北区)	777,510 人 (96.3%)	614.04 km ² (39.4%)

出典：平成30年版浜松市統計書「町別面積、人口」
(人口は住民基本台帳 平成29年12月末日現在(外国人住民含む)、面積は平成19年4月1日の都市計画基礎調査による)



◆衆議院小選挙区の線引きを基本とする2区案

構成	小選挙区	人口(割合)	面積(割合)
中区(花川地区)+西区+南区 (可美地区)+北区+浜北区+ 天竜区	7区 3区	352,217人 (43.6%)	1,426.94 km ² (91.6%)
中区(花川地区以外)+東区+ 南区(可美地区以外)	8区	454,796人 (56.4%)	131.10 km ² (8.4%)

出典：平成30年版浜松市統計書「町別面積、人口」

(人口は住民基本台帳 平成29年12月末日現在(外国人住民含む)、面積は平成19年4月1日の都市計画基礎調査による)

